



平成20年3月28日

各 位

会 社 名 株式会社 間 組（呼称：ハザマ）
代表者名 代表取締役社長 小野 俊雄
（コード番号 1719 東証第1部）
問 合 せ 先 経営企画本部総務部長 山田 隆正
（TEL. 03 - 3588 - 5700）

新中期経営計画「ハザマ第3次中期計画」策定に関するお知らせ

当社は、この度、平成21年3月期を初年度とする3ヵ年の中期経営計画「ハザマ第3次中期計画」を策定いたしましたのでお知らせします。

当社は、平成18年3月期を初年度とする「ハザマ第2次中期計画」において「成長戦略への転換」を掲げ、営業力の強化や業務の効率化などの施策を強力に推進してまいりました。その結果、土木工事においては高度技術・大型の官庁工事を中心に受注量を伸ばすとともに、建築工事については受注量、利益額・利益率を安定的に確保するなど一定の成果と効果を上げることができました。

しかしながら、景気減速懸念がある中での受注競争激化、資機材・労務費の上昇による利益の圧迫要因、公共工事における入札制度改革など外的環境の変化は継続しており、将来を見据えたより踏み込んだ対応が必要となっております。

当社は、このような経営環境の変化が続く中、「ハザマ第2次中期計画」における成果を基盤として、新たな「ハザマ第3次中期計画」を策定いたしました。第3次中期計画は「新時代に『ハザマを築く』」を掲げ、事業基盤・事業戦略の確立と、将来に向けた諸施策を実行してまいります。

お客様の満足と安全・品質はもちろん、企業経営の根幹をなす「継続的な企業価値の向上」を推進し、利益の確保と安定化のため、採算性を最優先に事業規模を確保し、株主をはじめハザマを支え、応援していただいている方々の期待にお応えしてまいります。

今後3年間、技術と現場に軸足を置き、施工管理・現場支援に注力して「安全・品質」を徹底し、技術力・現場力で「攻めの挑戦」を進め、新時代にハザマを築いてまいります。株主をはじめとする皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以 上

ハザマ第3次中期計画

新時代に「ハザマを築く」

～技術力・現場力で「攻めの挑戦」～

- 確かな成長への足がかり
- 人を育て競争を勝ち抜く
- 継続的な企業価値の向上

2008年3月28日
株式会社 間組

○ 計画期間 ～将来に向けた舵取り～

第6期～第8期(2008年4月～2011年3月)・・・各期に年度事業計画にて実施、毎期ローリング

I. 事業規模 (個別:最終年度の規模)

- 1.受注高 2,100 億円・・・土木 900 億円(国内 850 億円、海外 50 億円)
建築 1,200 億円(国内 1,100 億円、海外 100 億円)
- 2.完工高 2,155 億円
- 3.経常利益 46 億円
- 4.人員 2,000 人体制 (総運営人員)

II. 利益確保と安定化 ～採算性を最優先に事業規模を確保～

- 1.徹底した選択と集中・・・得意分野・高度技術・大型工事で実力発揮、コスト競争力の確保
- 2.経営資源の最適化・・・技術と現場に集中、最適シフトで戦力最大化、重点指向で生産性アップ、
事業に見合う組織体制、間接部門をIT化等で効率化
- 3.財務体質の充実

III. 「技術のハザマ」の展開 ～顧客ニーズに技術で応える～

- 1.高い技術で顧客の満足・・・技術提案の深化、顧客視点の先取で技術開発、
土木と建築の相乗効果、実績と技術を生かした営業
- 2.卓抜した技術者集団の発揮・・・軸足は技術と現場、施工管理・現場支援に注力し「安全・品質」を徹底、
技術力・現場力をブラッシュアップ
- 3.人材に積極的な投資・・・人的資源の確保、能力アッププログラムを展開、人事施策と処遇への取組
- 4.協力会社とのパートナーシップ・・・相互信頼の生産体制、確かな品質を安全に生み出す

IV. アライアンス等・・・安藤建設との共同取組(特に土木事業の展開)、西武建設との共同取組、 大型工事にJVで共同取組

V. CSRへの取組・・・継続したコンプライアンスの徹底、環境への配慮、社会貢献への取組

○ 主要数値計画(個別:経営目標)……各期に年度事業計画にて実施、每期ローリング

単位:億円

		(実績)	(見込み)	計画期間(目標値)			目指す 将来の絵姿 第10期 2013年3月
		第4期 2007年3月	第5期 2008年3月	第6期 2009年3月	第7期 2010年3月	第8期 2011年3月	
受注高	土木	891	1,300	900	900	900	1,000
	建築	1,069	1,230	1,200	1,200	1,200	1,300
	計	1,961	2,530	2,100	2,100	2,100	2,300
完工高	土木	975	955	1,050	1,050	955	1,000
	建築	1,188	1,061	1,170	1,230	1,200	1,300
	計	2,163	2,016	2,220	2,280	2,155	2,300
完工総利益		147	140	146	161	162	175
経常利益		33	20	28	44	46	55

ROE (*)	2.4%	2.0%
自己資本比率	17.6%	17.4%
D/Eレシオ	0.9倍	0.8倍

6.0%
19.0%
0.6倍

(* ROE:期末株主資本を使用)

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。